

概 要 報 告

実施期日	8月2日(金)
部 会 名	中学校 国語部会

神奈川県研究主題

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

テーマ

『読むことにおける個の学びと協働的な学び』

提案概要

○課題意識と実態

多くの生徒が文章を読んだ感想を述べる際に一言にとどまり、考えを広げたり深めたりすることが難しい状況であること。また、「～が面白かった。」「～がすごかった。」という表現を用い、読んで深く考えることができていないことや、文章を読むことに抵抗を感じる生徒も少なくないこと。実際に小説を読み切ったことがない生徒が一定数いること。

○課題に対しての手立て

1) 単元デザインシートの活用

見通しを持つことができるとともに、常に課題意識をもって授業に取り組むことができる。

2) 個の学びと協働的な学びの活用

文章を読んだ感想を一言で終わらせず、多角的な考えに触れることで深い学びに結びつけられる。

3) ICT 機器の活用

オンラインで意見共有を行うことで、生徒同士で活発なコミュニケーションができる。

全体の動きを視覚的に確認でき、安心した学びにつながる。

○実際の具体例

教材名：「君は最後の晩餐を知っているか」「最後の晩餐の新しさ」

【言語活動】

思考ツールを使って二つの文章を整理・比較し、分かったことを自分の言葉で考え、まとめる。

【指導事項】

「C 読むこと」エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。（精査・解釈）

【授業概要】

二つの文章を比較するために、観点ごとに「くま手チャート」を使って整理した。最初から表にまとめるよりもスムーズに活動することができた。次に「Jam board」を使い観点ごとに意見の共有を行った。他者の意見を参考にしながら自分の考えを整理し、自分の比較表を完成させる作業を行った。この作業を通じて生徒は他者と協力しながら学ぶという経験をした。また、共有した内容から必要な情報を取捨選択して取り入れることができていた。

教材名：「走れメロス」

【言語活動】

『走れメロス』のサブタイトルを考える。

【指導事項】

「C 読むこと」イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。（精査・解釈）

「C 読むこと」オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。（考えの形成、共有）

【授業概要】

文章を読む前に、単元デザインシートを配布し、目標を意識させながら読むことでいつもより集中することができた。初読後、魅力について考えたが、一言で終わっている生徒が多かった。それぞれの場

面にどのような出来事があったか確認した。その後、登場人物を漢字二字で表すという学習活動を設定した。サブタイトルを考える学習活動では協働的な学習を取り入れ、生徒が楽しみながら活動できた。また、互いの考えに触れることで自分の考えが深まることや細かい言葉に着目して考える重要性に生徒が気づけた。ICTの利活用では、毎回の授業で生徒からキーワードを集め、それをプロンプトとして利用し、生成AIに画像を作成させる活動を行い、細かい表現について考えることができた。

○成果と課題

成果は、生徒が意見交換の重要性に気づくことができたことである。また、協働的な学習の場面が言語化を苦手とする生徒への支援になった。ICT機器の利活用により、生徒が積極的に学んだり、生徒同士のコミュニケーションが活発になったりし、学びが深まった。単元デザインシートでは、目的意識を持って読むことと、学習活動を視覚化することができた。

課題は、生徒によって学習の進度や理解に差が出てしまう危険性があることである。それに対しては、すべての生徒が意見を持てるよう、意見を「もつ」段階での支援が重要になってくる。

質疑応答

質問は特になし。

協議の柱及び協議概要

協議の柱

[生徒が主体的に読みを深める工夫（ICTの利活用・単元デザインシート）]

協議概要

○ICTの利活用と各学校での具体的な実践例

- ・主体的に読みを深めるために説明文の段落を並べ替えさせることができる。
- ・教科書の本文と写真を分け、間違っただけに画像を提示し、違うと思った理由を本文から探す。
- ・実際には体験、経験できないことを動画などで体験させることができる。
- ・Google フォームでふりかえりを行う。
- ・短歌や俳句を ChatGPT に作らせて参考にする。
- ・学習の進度を視覚的に伝える。
- ・発表などを録音してふりかえりを行う。
- ・文章構成などを共同編集する。

○単元デザインシートの利点と各学校での具体的な実践例

- ・視覚的に見通しが持つことができる。
- ・教員の授業構成や単元目標も明確にすることができる。
- ・生徒が単元の中で意識を持って各時間の授業に臨める。
- ・学習の進度が視覚的にわかる。
- ・課題意識を持って授業に取り組みやすい。
- ・受け身ではなく、自ら次の課題について考え始めることができる。

まとめ概要

課題としてあがった「文章を読むと、一言の感想にとどまりそれ以上考えを広めたり深めたりすることが難しい」については、多くの学校に当てはまる課題であると考えられる。

提案された単元デザインシートは、生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組むことを目的とするならば、生徒を主語とし、生徒にわかる言葉で、興味を持つような構成でとても有効であると考えられる。生徒が単元デザインシートを読みたいと思うことが主体的に学習に取り組むきっかけになると思われる。また、単元を通して作成することで、一時間の授業に限られず、生徒に合わせて柔軟に授業を行うことができる。

次に、国語において ICT の利活用は、主体的に読みを深めることにつながるということが分かった。文章の読みを深めるために、ICT を利用するということが重要である。今回提案された授業の構造としても最後に生徒自身が考える活動があり、そのための手段として ICT を利活用している点でとても有効であったと考える。